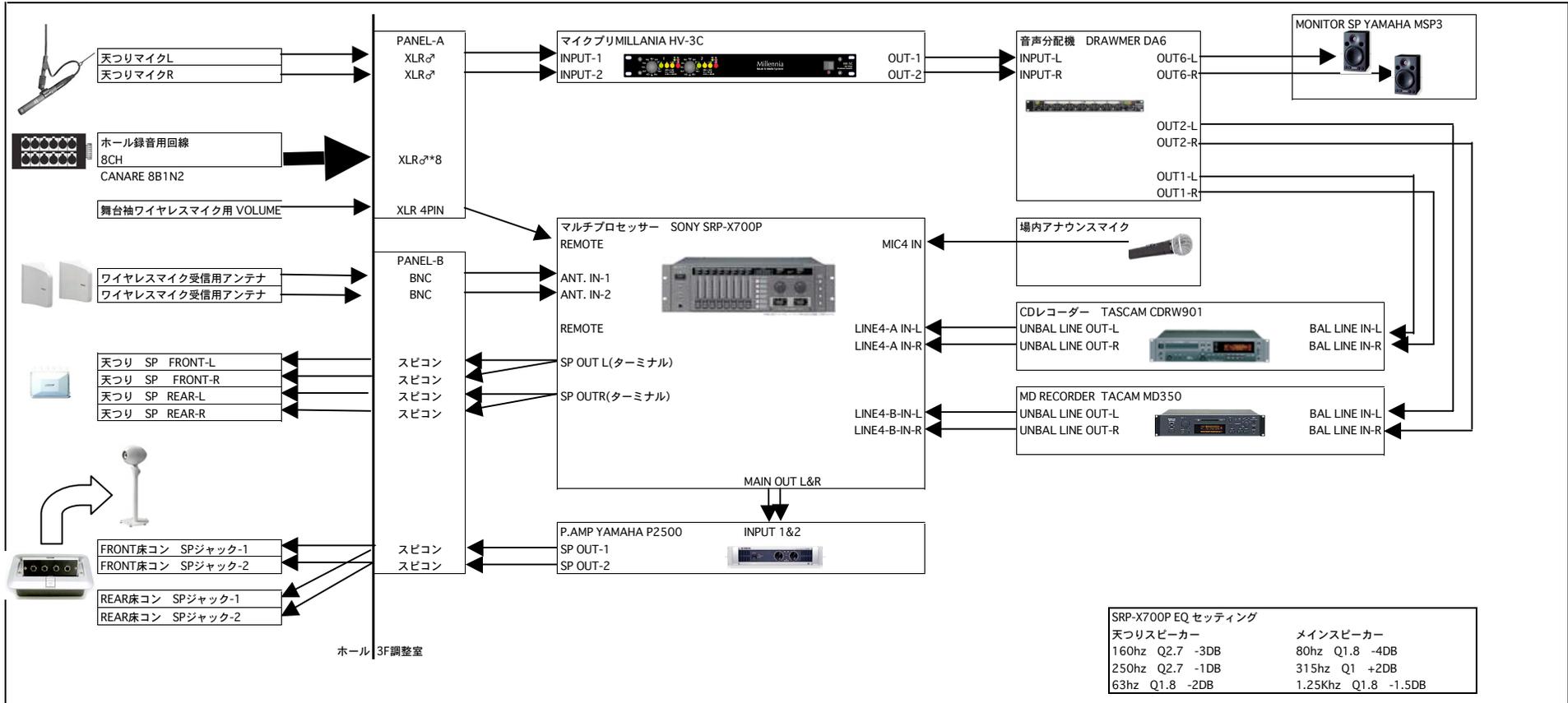
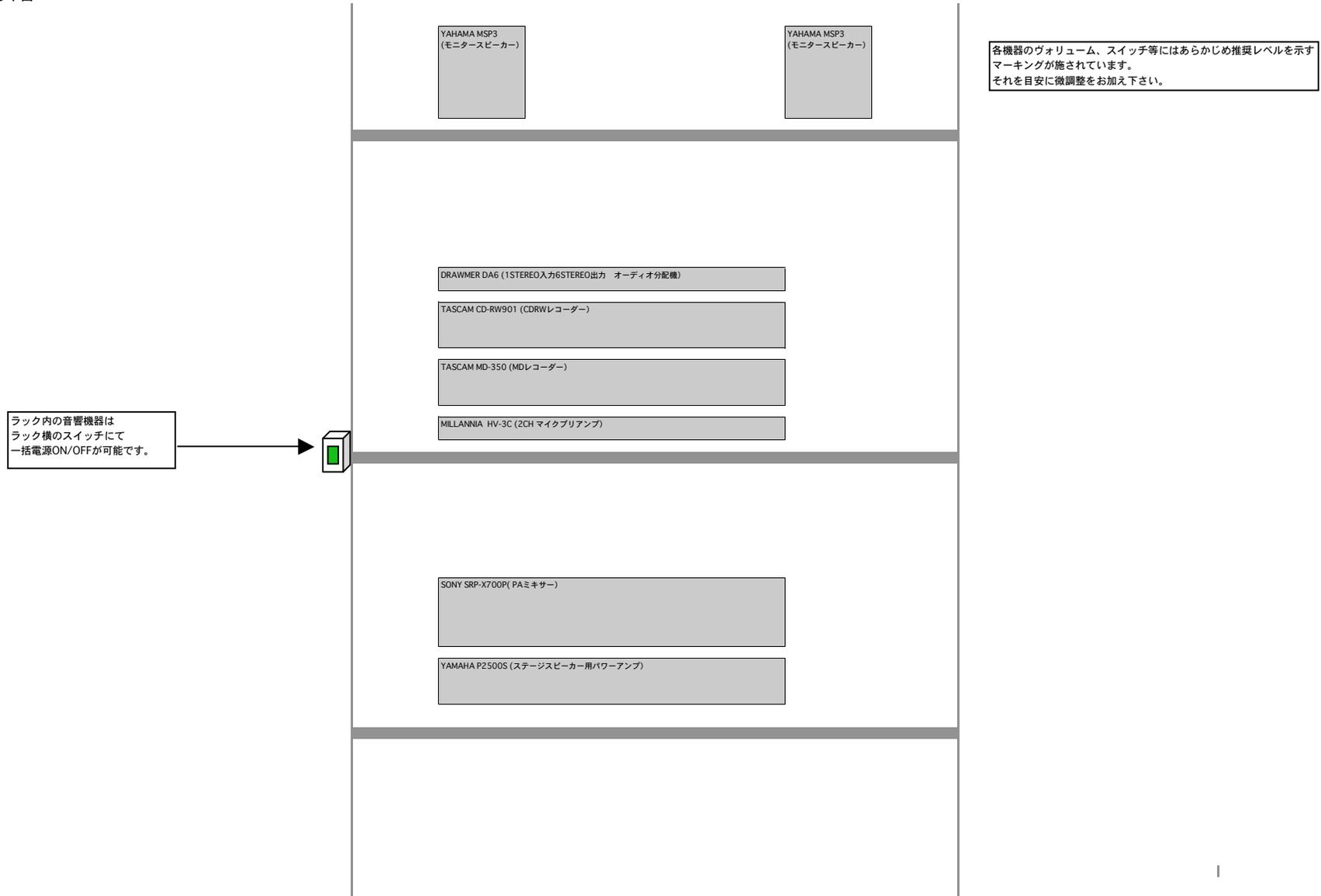


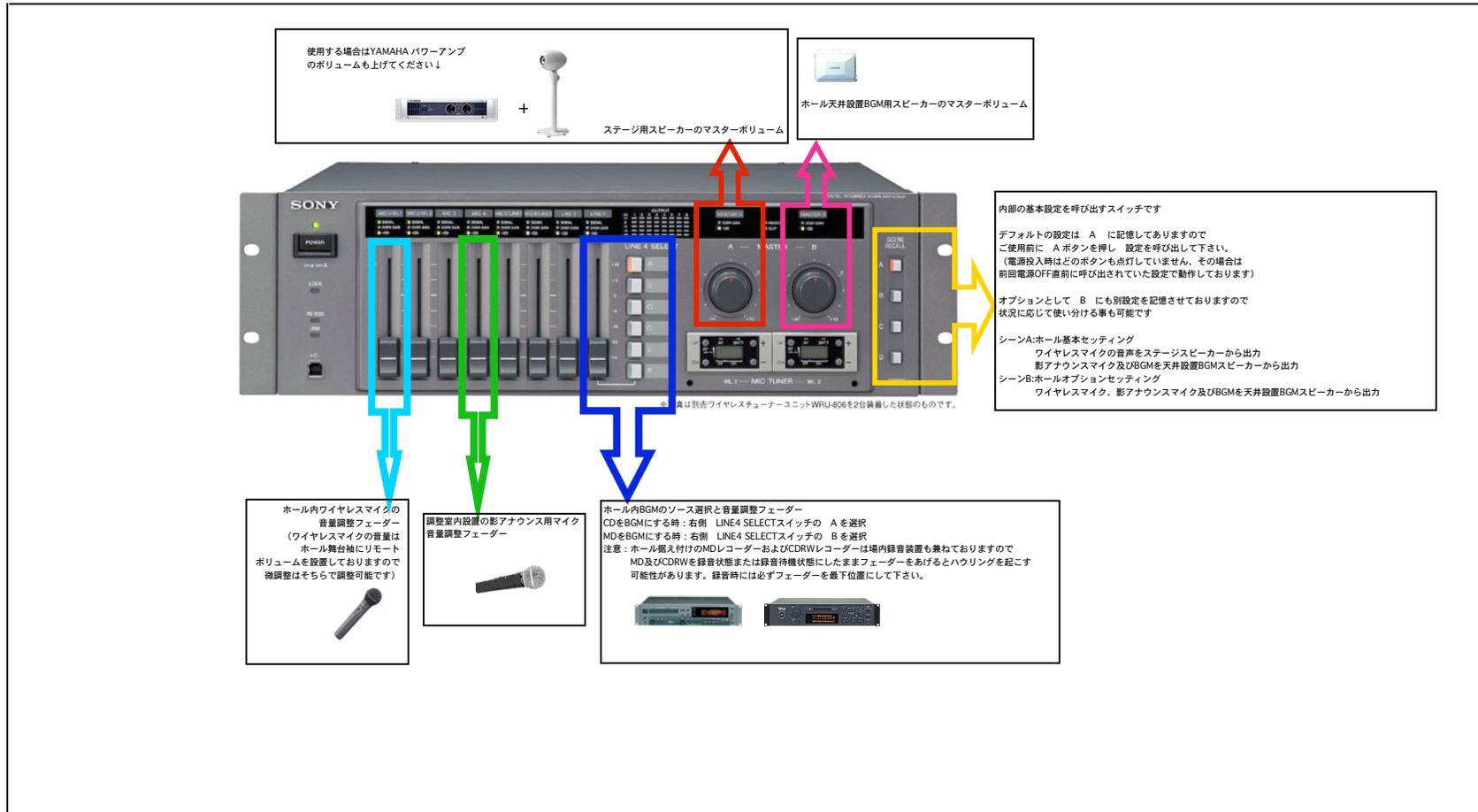
ブロック図



ラックレイアウト図



PA機器詳細



レコーディング機材詳細

各機器の基本的な使用方法は各取扱説明書をご参照ください。



インプットレベル調整トリム  
本体レベルメーターを見ながら適正レベルに調整して下さい

インプットセレクトスイッチ  
押す度に入力選択が切り変わります。信号はアナログバランス入力端子に入力されていますので [BAL. ANALOG]を選択して下さい。



インプットレベル調整トリム  
本体レベルメーターを見ながら適正レベルに調整して下さい

インプットセレクトスイッチ  
信号はアナログバランス入力端子に入力されていますので [ANALOG]を選択して下さい。

マイクのゲイン調整トリムとゲインレンジ切り替えスイッチ  
適正録音レベルになるように都度調整して下さい。



MILLENNIA HV3C  
ホール天井据え付けの天井吊りステレオマイク用のマイクプリアンプとして使用しています。

+4.8Vスイッチ  
コンデンサマイクの為のファンタム電源スイッチです。このスイッチを押す事でマイクに電源が供給できますので収録の際には必ずONにして下さい。OFFの時にはマイクは音を拾いません



YAMAHA MSP3(モニタースピーカー)  
ホール内点吊りマイクで収録した音声をモニターする為のスピーカーです。

音量ボリューム調整  
2番のトリムで本機の音量を調整して下さい

インプットレベルメーター  
HV-3Cで増幅されたマイクの音量レベルを確認できます



CDRWへ送る音量調整  
MDレコーダーへ送る音量調整

モニタースピーカーへ送る音量調整

DRAWMER DA6 (オーディオ分配機)  
HV3Cで増幅した天井吊りマイクの音声をCDRW、MDレコーダー、モニタースピーカーへ分配する機能を持ちます。各ボリュームトリムで音量調整は可能ですが、基本的には本機のボリュームは全て"0"の位置固定でお使いいただき各レコーダーのインプットボリュームにて録音レベルを調整する事をオススメいたします。